様式２

令和６年度 多摩高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

○　課題・目標別実施結果

課　　題	目　　標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上	法令遵守意識を持って、生徒･保護者の信頼に応える教育を実現する。	啓発資料を活用し、事故事例をもとに法令遵守についての研修を定期的に実施した。意識の向上も見られ、事故防止意識の向上を図ることができた。
個人情報の管理、情報セキュリティ対策	個人情報等を適正に管理し、個人情報保護及び情報セキュリティ対策を講じる。	各種個人情報の管理やプライバシーへの配慮の徹底を図った。個人情報管理については、日常的指導を継続して行った。教務手帳を専用キャビネットで管理し、紛失防止に努めた。
成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	教育課程関係書類の作成及び取扱いなど業務の確実な取組を徹底し、事故を未然に防止する。	成績処理や進路指導関係書類の作成や取扱いに係るマニュアルを作成し、業務を複数で行うことで事故防止に努めた。また、定期テストについても、事前、事後の点検を確実に実施した。
入学者選抜書類の作成及び取扱いに係る事故防止	入学者選抜業務マニュアルに従い、採点・点検業務における業務を複数で確実に実行し、入学者選抜業務に係る事故防止の徹底を図る。	インターネットによる出願システムの円滑な運営に向け、各職員がマニュアルに従い、一つ一つの業務を着実に推進した。また、複数の職員によるチェック体制のもと事故なく業務を推進することができた。
交通事故防止、酒酔い･酒気帯び運転防止と交通法規の遵守	交通法規・交通マナー遵守を徹底し、交通事故・違反、酒酔い･酒気帯び運転を未然に防止する。	特に年末年始の時期を意識し，啓発資料を配付し、適切な時間設定についての啓発と、お互いの声かけによる事故不祥事の防止に努めた。
職場のハラスメント（パワハラ等）の防止や体罰、不適切な指導の防止	常に人権に配慮した言動を心がけ、体罰・不適切指導、生徒及び職員間のハラスメントを未然に防止する。	職員人権研修会を実施し、人権感覚を磨いた。また、啓発資料を活用し、体罰やセクシャルハラスメント、パワーハラスメントについての意識の高揚を図った。生徒には相談窓口を周知し、SCやSSW等の相談体制を充実させた。
児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	他者の思いに気づく人権感覚を磨き、同行為を未然に防止する。	職場の風通しを良くし、気軽に相談できる雰囲気の醸成に努めた。情報収集に努め、事故を未然に防ぐ体制の構築と、職員への啓発を継続して行う必要がある。
会計事務等の適正な執行と現金管理、適切な備品管理	私費会計処理上の事故・不祥事を未然に防止する。	私費会計マニュアル作成し、すべての職員に配付して、私費会計に係る研修会を実施することで適正な会計処理を指導した。また、購入備品の管理・点検を確実に行い、適正な会計処理を推進した。
業務執行体制の確保	働き方改革の視点と高い倫理意識を持ち、組織として計画的かつ適正に業務を執行し、県民の要請･期待に応える。	業務にあたり管理職や職員間での情報共有の重要性を徹底するとともに、Teamsを活用した効率的な情報共有に努め、働き方改革を推進した。また、生徒・保護者からの声を的確に共有し，対応力の向上、業務改善に努めた。
若手職員の育成	若手職員のメンタルヘルス及び不祥事防止の知識の継承と意識の向上を図る。	年間を通じ声かけ・面談を行い，状況把握を行うとともに、若手教員対象の不祥事防止研修を実施した。今後も円滑な意思疎通、風通しの良い職場環境づくりを更に進めていく。

○　令和６年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和７年度に取り組むべき課題

（学校長意見）

企画会議の度に不祥事防止会議を行い、事故防止及び不祥事防止に向けた意識の向上に努めた。また、職員会議等において、すべての教職員で定期的に不祥事防止研修会を開催し、自己検証等に努めた。さらに、総括教諭を中心に経験の浅い若手教員を対象に、グループ討議等を交えた実践的な研修会を開催することで、不祥事防止等に向けた規範意識の醸成に努めた。全国的に教員による不祥事が多発している現状から、教職員として高い倫理観や人権意識を持ち、引き続き事故及び不祥事防止等を起こさない体制づくりを作っていく。